

エコアクション21 環境活動レポート

(対象期間:2015年10月1日~2016年9月30日)

2016年12月28日

ニッカル商工株式会社

1. 環境方針

環境理念

ニッカル商工株式会社は環境に優しいアルミニウム素材・製品の販売・加工業務を通じてかけがえのない地球環境の保全が、私たち世代の重要課題の一つであると考え、持続可能な循環型社会形成に寄与出来る事業活動を目標とします。

環境方針

1. 環境保全に関する目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組んでいきます。
2. 資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を常に認識し、Reduce（廃棄物削減）、Reuse（再使用）、Recycle（再利用）に取り組めます。
3. 環境関連法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。
4. 販売する商品に含まれる有害化学物質の使用禁止及び削減をメーカーと共に推進します。
5. 事務用品、資材等のグリーン購入に努めます。
6. 全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着、向上に努めるとともに、環境行動計画及びその実施状況並びに環境関連情報については、「環境レポート」に取りまとめ公表します。

制定 2012年1月16日

改訂 2013年11月27日

ニッカル商工株式会社

代表取締役社長 松下 力

2. 事業の概要

- 1) 事業者名 ニッカル商工株式会社
- 2) 所在地 東京都大田区東糀谷 1-8-19

3) 環境保全関係の責任者及び連絡先

環境管理責任者：執行役員 露崎光洋

連絡先： TEL 03-5735-2970
 FAX 03-5735-2971
 E-mail m_tuyu@nikkal.net

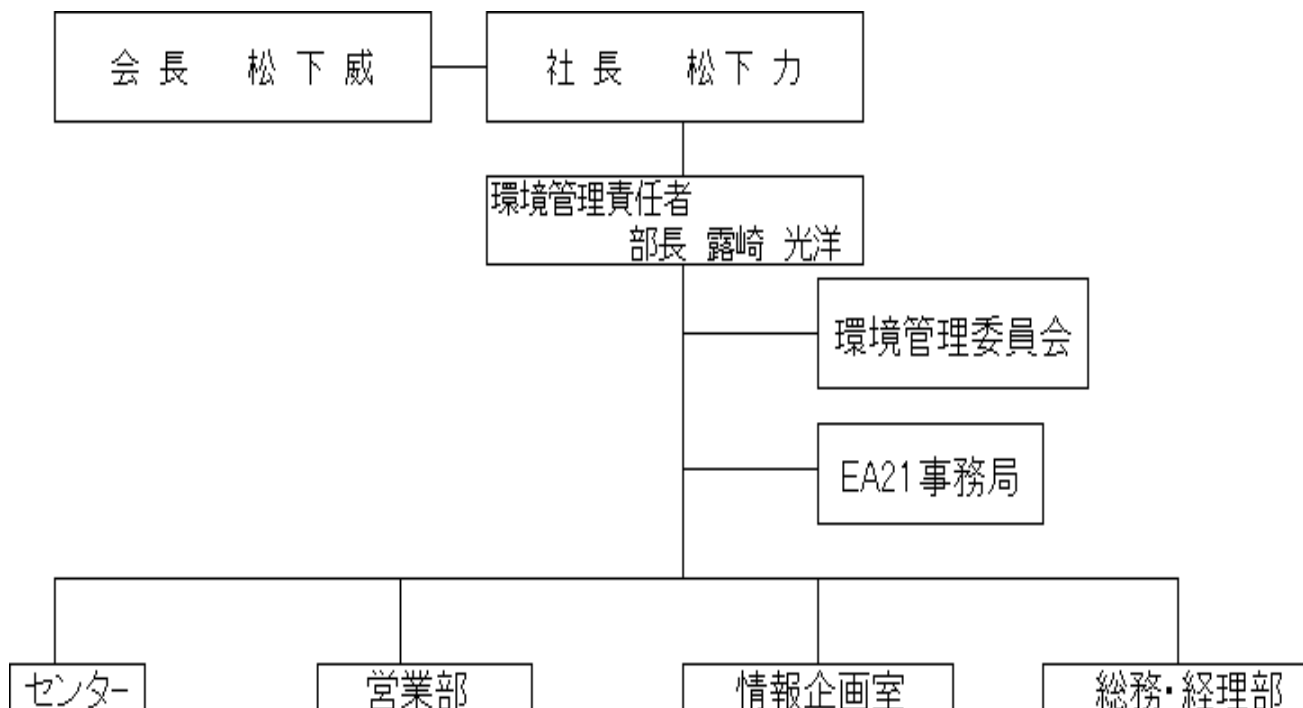


4) 事業の内容

アルミニウム圧延品・その他非鉄金属材料の販売および加工

5) 事業の規模	事業年度	2014年度	2015年度	2016年度
	従業員	22名	24名	25名
	事業所床面積	1420 m ²	1420 m ²	1420 m ²

3. 環境管理組織

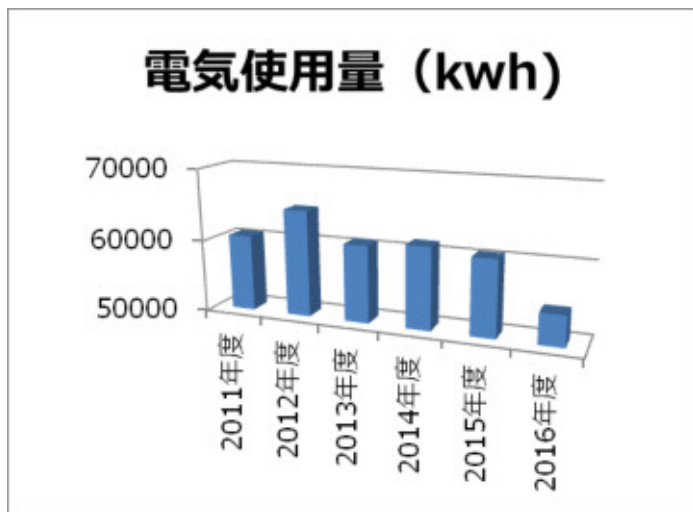


4. 環境への負荷の現状と環境目標

環境負荷別項目		前年度実績	2016 年度目標		運用期間実績		次年度		次々年度
		2014 年 10 月 ～2015 年 9 月			2015 年 10 月 ～2016 年 9 月	前年度比	2017 年度目標		2018 年度目標
	単位	実績	目標策定基準	目標値	実績	増減率	目標策定基準	目標値	目標策定基準
電気使用量	kWh	60504	2015 年度 実績-1%	59900	54250 対目標 ○	10.3%減	2016 年度 実績-1%	53708	2016 年度 実績-2%
ガス使用量	m ³	56	2015 年度 実績の維持	56.0	56.0 対目標 ○	±0	2016 年度 実績の維持	56	2016 年度 実績の維持
ガソリン	ℓ	5399	2015 年度 実績-1%	5345	5304 対目標 ○	1.8%減	2016 年度 実績-1%	5251	2016 年度 実績-2%
軽油	ℓ	8325	2015 年度 実績-1%	8242	7905 対目標 ○	5.0%減	2016 年度 実績-1%	7826	2016 年度 実績-2%
上下水道使用量	m ³	322	2015 年度 実績-2%	316	325.5 対目標 ×	1%増	2016 年度 実績-2%	319	2016 年度 実績-3%
CO ₂ 排出量 ※1	kg- Co2	66567	2015 年 実績-1%	65903	60573 対目標 ○	9%減	2016 年度 実績-1%	59967	2016 年度 実績-2%
一般廃棄物排出量	kg	4545	2015 年度 実績-1%	4455	3202 対目標 ○	29.5%減	2016 年度 実績-1%	3170	2016 年度 実績-2%
有害化学物質の管理		顧客より有害化学物質の非含有証明書の提出を求められた場合、要求期日以内に対応する							
グリーン購入（アスクル購入品） （グリーン年間購入金額割合）	%	44.4%	2014 年度 実績の維持	39.4%	45.9% 対目標	1.5%増	2016 年度 実績の維持	45.9%	2016 年度 実績の維持
自らが生産・販売・提供する製品 及びサービスに関する項目		ISO9001 の品質管理による活動を目標とする							

※1 2014 年度 CO₂ 排出係数 電力 0.505 都市ガス 0.0509 ガソリン 0.0671 軽油 0.0687

5. 環境活動の取組み結果の評価と見直し



・電気使用量の削減

2016年度の電気使用量は前年より10.3%削減の54,250kwhという結果となりました。1階配送センターの照明を400W水銀灯から160W無電極蛍光灯に交換したことが大きな削減効果につながりました。2017年度はクールビズ、ウォームビズに加え事務所内蛍光灯のLED化や加湿器を沸騰式からミスト式に変更するなどの取り組みも行います。

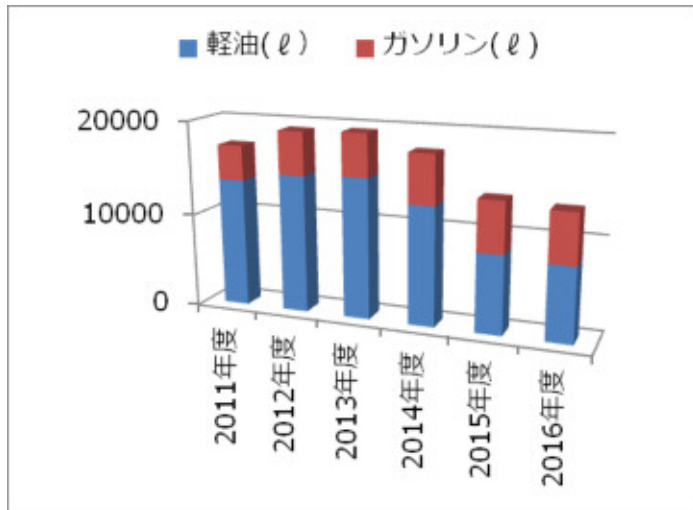
2017年度電気使用量の目標は2015年度実績から1%削減の53,708kwhとします。

・ガス使用量の削減

ガスの使用量は、3年連続の56 m³ (±0%)の結果となりました。ガスの使用はほぼ給湯器です。お湯を使わない時期や給湯器の電源を入れない時間を伸ばすなど無駄遣いしないように徹底されており、活動開始後最小の使用量が維持されてます。引き続き今回の使用量を維持するべく啓蒙を行います。

2017年度の目標は、2016年度の結果の維持を目標とします。

・ガソリン・軽油使用量の削減

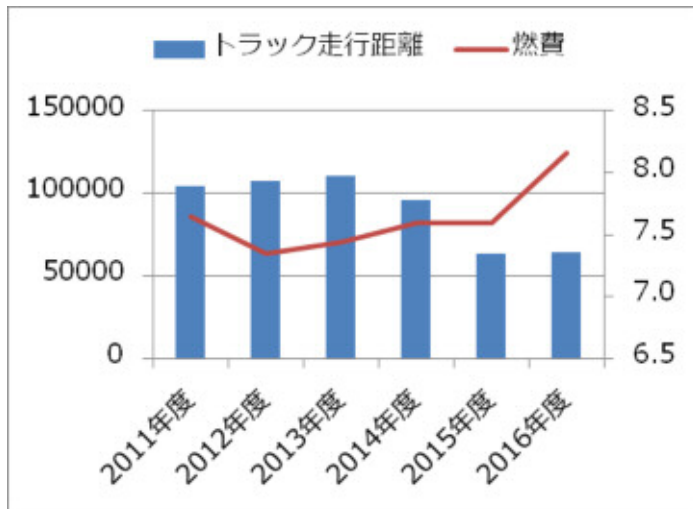


ガソリン使用量（営業車使用）は、2015年度より95リットル減り対前年比1.8%の削減となりました。軽油の使用量は2015年度より420リットル減り、対前年比5%の削減となりました。近年、得意先や新規営業エリアが首都圏よりも郊外に増加する傾向にあり、ガソリンの使用量を削減することが厳しい中、営業車を1台PHEV車に入れ替え目標達成につなげることができました。引き続き車両の定期点検整備やエコ運転の啓蒙を続け使用量の削減に取り組み、燃料の効率的な使用を心掛けます。2017年度のガソリン使用量の目標は、2016年度使用量の-1%、5251リットルとします。

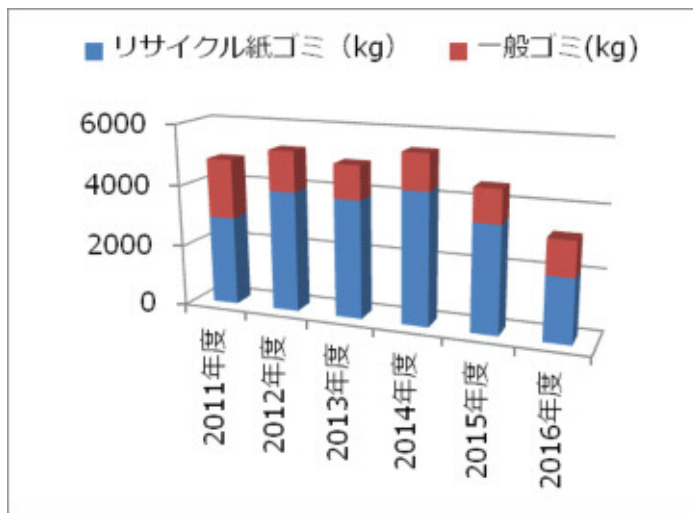
配送で使うトラックは昨年度の減車に続き、ハイブリッド車に入れ替えたことで燃費が向上し5%の削減につなげることができました。

軽油使用量の2017年度目標は、2016年度使用量の-1%、7826リットルとします。

・トラックの走行距離と燃費



自社配送トラックの走行距離は前年に比べて1803kmの増加となりました。2015年度より配送の外部委託による減車を実施することにより走行距離、軽油使用量が大きく削減されてますが、2016年度は従来のエコ運転啓蒙活動に加え、最も配送距離が長い3トントラックをハイブリッド車に入れ替えることにより燃費が大きく向上しました。昨年同様、配達件数の増加や配達エリアの拡大は続いていくと考えられますが、トラック入れ替えの際はハイブリッド車にするなどさらなる燃費の向上に努めます。



・一般廃棄物排出量の削減

2016年度の一般廃棄物の総排出量は3202kgとなり、前年より29.5%の減少となりました。旧文書の処分が一段落し、一部社内文書を電子化するなど減少に努めました。一般廃棄物の大半は紙ごみで種類ごとに紙を分別し計量後、古紙回収業者に引き取りをお願いします。残りは1Fと2Fの事務所から排出される一般廃棄物です。紙ゴミは引き続き旧文書の処分や使う機会がなくなった裏紙です。

廃木材（緩衝材）は引き続き引取り可能分についてはメーカーに引取りをお願いします。

2017年度目標については2016年度実績値の-1%とします



・水道使用量の削減

水道の使用量は、2015年度比で1%増の325.5 m³となりました。2016年度も清掃活動の強化による水の使用量の増加や夏季の打水を行いました。水道使用量は従来より節水の社内啓蒙活動の強化、水漏れのチェック、節水バルブによる水道の流量の調整等の活動を徹底している為削減は難しいのですが清掃活動や打ち水時の水を使いすぎないように啓蒙するなど、さらなる水道使用量の削減に向け取り組んでいきます。

2017年度の削減目標は2015年度結果-2%、319 m³を目標とします。

6. 主要な環境活動

取組項目	活動概要	評価	評価内容
電気	<ul style="list-style-type: none"> ① 就業時間前後の空席エリアの消灯をする ② 電気ポットは17時30分にOFF ③ 設備更新時には省エネ型機器・設備の購入 ④ 蛍光灯は、省エネタイプに順次切り替える ⑤ 冷暖房使用時の温度設定を夏は28℃以上、冬は22℃以下に設定する 	◎	配送センターの照明器具を水銀灯から蛍光灯に切り替えたことが大きく削減効果につながった。
ガス	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ ガス給湯器は必要な時のみ使用する ⑥ 給湯器の使用時間の制限（～17：30） ③ 給湯器の温度設定を最低温度に設定する 	○	給湯器は37度設定を維持されている。
水道	<ul style="list-style-type: none"> ① 節水の注意書きを貼る ② 節水コマを設置し、水の流し過ぎの無駄を抑制し節水に努める ③ 水漏れ箇所の点検・修繕 	△	社内の見回り点検、社内啓蒙を継続して行っているが削減にはいたらなかった。
ガソリン 軽油	<ul style="list-style-type: none"> ① エコ運転の推進（継続） <ul style="list-style-type: none"> Ⓐ 荷物は最小限とし、余分な荷物は降ろす Ⓑ タイヤの空気圧は常に最適を保つ Ⓒ 急加速、急停車をしない Ⓓ 定速運転の励行する Ⓔ エアコンの使用を控える Ⓕ アイドリングストップを励行する ② 入れ替え時は省エネ車両の導入を推進する 	◎	従来のエコ運転、定期点検整備の他、最も走行距離が長い3トン車をハイブリッド車に入れ替えた。また、営業車を1台PHEV車に入れ替えた。
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物排出量の計測 ② 分別を徹底し、資源化・再利用を優先として区分し、廃棄処理を行う ③ 長期保存書類・包装紙・ダンボールについては再資源化を優先し、廃棄物の削減を推進 ④ 鉄屑・アルミ屑・端材は、再処理業者へ引き渡すなど、再資源化に努める 	◎	旧文書の処理が一段落し、リサイクルゴミが1トン減った。
物質投入	<ul style="list-style-type: none"> ① 不用コピー用紙のリサイクルボックスによる資源回収・再利用 ② メール活用によるペーパーレス化 ② 両面コピー・印刷の徹底 ④ 縮小コピーによる使用枚数の削減 	○	両面印刷や電子媒体を活用したペーパーレス化、裏紙の再利用など省資源化が徹底されている。

7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社に関連する法規一覧

法規制	適用内容	評価
廃掃法 (東京都廃棄物条例・規則)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理事業者との契約の締結 (その際 事業許可証の確認) ・ マニフェスト管理(産業廃棄物排出時) 	○
下水道法	特定施設なし 総排水量 日量 50 m ³ 以下 適用除外	—
RoHS 指令	<ul style="list-style-type: none"> ・ 得意先要求があった場合、メーカーから特定の化学物質含有情報シートを取得し得意先に提出 	○
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル料金の支払い ・ 引き取り事業者への引き渡し 	○
小型家電リサイクル法	指定小型家電製品の適性な回収処理	
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル税の支払い ・ 引き取り事業者への引き渡し 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的なエアコンのチェック 	○
東京都環境確保条例	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディーゼル車の排出ガス規制 ・ アイドリングストップ 	○

※環境関連法規制／その他要求事項について

その他環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し

2016年のエコアクション21活動は全体的に良い結果で終わることができました。

Co2排出量は2015年度比5.2%と大きく削減することができました。大きな取組としては、電気の使用量については配送センター天井の水銀灯を無電極蛍光灯に入れ替え、1割以上削減することができました。ガソリン、軽油使用量はハイブリッド車の入れ替えや減車をすすめることによりそれぞれ1.8%、5%削減することができました。一般廃棄物も旧文書のリサイクルが一段落するなど30%近く削減につながりました。

まだまだエコアクション活動で取り組めるテーマはあると思います。2017年度は消費電力の低い器具の入れ替えや低燃費の車両の入れ替えや、減車など取り組んでいきます。

ニッカル商工はこれからもエコアクション活動に対する社内体制作りや従業員の高い意識を維持させる環境作りを進めて参ります。